

常任委員会の紹介

各委員会のメンバーに一部変更がありましたので新たな委員を紹介します。また、この1年間に取り組む活動テーマなどをお知らせします。

- ◆建設環境委員会
- 委員長 土方 隆司
 - 副委員長 笹本 英輔
 - 委員 西塚 和音
 - 委員 齋藤 誠
 - 委員 望月 高志
 - 委員 大島 政教
 - 委員 磯野 和夫

- ◆文教厚生委員会
- 委員長 綿貫 伸子
 - 副委員長 金子 広和
 - 委員 内藤 光雄
 - 委員 千葉 良秋
 - 委員 矢馳 一郎
 - 委員 大沢 えみ子
 - 委員 新良 守克

- ◆総務経済委員会
- 委員長 太田 博希
 - 副委員長 三浦 和也
 - 委員 高橋 ブラク
 - 委員 ソン久美子
 - 委員 加賀谷 勉
 - 委員 猪股 嘉直
 - 委員 中村 正義
 - 委員 田村 秀二
 - 委員 町田 昌弘

- ◆基地対策特別委員会
- 委員長 加賀谷 勉
 - 副委員長 矢馳 一郎
 - 委員 土方 隆司
 - 委員 三浦 和也
 - 委員 笹本 英輔
 - 委員 綿貫 伸子
 - 委員 猪股 嘉直
 - 委員 中村 正義

- ◆議会運営委員会
- 委員長 新良 守克
 - 副委員長 太田 博希
 - 委員 金子 広和
 - 委員 土方 隆司
 - 委員 笹本 英輔
 - 委員 綿貫 伸子
 - 委員 大沢 えみ子
 - 委員 中村 正義



◆今年度の活動テーマ

- 健全な行財政運営の推進
- 地方創生の推進

常任委員会の任期が2年であることを考慮し、今年度のテーマは昨年を引き続き、先述の2点を掲げました。

人口の減少、高齢化、税収の減少



(後列左から加賀谷、町田、田村、中村、高橋、猪股、前列左から太田、三浦)

◆総務経済委員会の担当分野

総務経済委員会では、市の総合的な政策、総務、商工、農業、防災、交通のほかに、他の常任委員会が担当しない事項を審査します。

健全な行財政運営と地方創生の推進を

総務経済委員会

と、狭山市が抱える問題は多岐にわたります。その中で、健全な行財政運営と地方創生を両立させることが重要です。

今年度は、市政運営の基本方針となる「第4次狭山市総合計画」の開始年度であり、また「狭山市公共施設等総合管理計画」が提示される年でもあります。

昨年度に引き続き、市民の福祉増進、安全・安心のために、調査、提言を行っていきます。

また、農業従事者などの皆様との意見交換の機会を持ち、現場の声を反映することが出来る委員会を目指します。



委員会のような様子

議会ってどんなところ？

本会議や委員会とはどなたでも傍聴することができます。一度、ぜひお越しください。



支援プロジェクト事業とはどのような内容か。

市内企業の優れた製品や技術を市内外に情報発信するため、また、企業の人材確保支援に向け、企業の紹介冊子やサイトの作成、イベントでの市内企業ブース設置や商談会の開催、講演会などを予定している。

母子保健型利用者支援事業の取り組み概要は。

保健師や助産師が妊娠期から子育て期のさまざまな悩みなどの、相談を受け

支援を行うもの。

入曽駅の周辺整備事業計画の内容は。

入曽駅周辺の地域課題を解消し、利便性と安全性を高めるため、入曽小学校跡地と購入契約済みの用地などを活用し、駅前広場やその周辺の道路計画、駅周辺が活性化する民間施設の立地計画などの事業化に向けた検討をしていく。

婚活の支援事業で、業務委託の内容と委託先は。

出合いの場の提供や、ライフデザインを学ぶ講座も開催することとしており、専門の業者に講師や司会者の派遣、募集用ウェブサイトの作成や集客管理などの運営を委託する。

入間川とことん活用プロジェクトによる河川敷地の利活用の条件は。

これまで河川敷地の利用は、公共性のあるものなどに限定されていたが、地

議員提出議案

域再生などを目的とした営業活動は、県の指定を受けた上で利用できるようになった。

旧中央公民館など跡地の活用の方向性は。

商業系機能の導入を進めるとともに、駅前の中心市街地周辺の定住人口の増加のために、一部をマンションなどの集合住宅とすることを考えている。

◆更なる環境対策車への更新と普及を促進する決議 (下段参照)

提出議員 太田 博希

《賛成総員で原案可決》

その他の議案

《いずれも原案同意・可決》

◆人事 ◆人権擁護委員候補者の推薦(小野田淑子氏) その他 ◆新狭山公民館新築工事(建築)請負契約の締結、和解、市道路線の認定(3)、市道路線の廃止

更なる環境対策車への更新と普及を促進する決議(要約)

燃料電池車は、CO₂の排出を削減することにより温暖化が進む地球環境を保全し、次の世代に緑の地球を引き継ぐための新技術として期待されている。また、環境保全と新技術に取り組む企業を支援し、ともに発展していくことが、未来を支える次世代の暮らしを守ることとなる。以上のような状況を考慮し、狭山市議会は、改めて以下を決議する。

- 1 狭山市の保有する車両については、燃料電池車など環境対策車への更新に努めること。
- 2 地球環境問題への取組み、CO₂削減の見地から、燃料電池車など環境対策車の普及を促進すること。

狭山市健全発展特別委員会を設置

狭山市議会は「市民の負託に応える合議体」として、『狭山市を将来にわたり健全に発展させ、市民福祉の向上を図ること』を目的に、特別委員会を設置します。

主な調査事項

- (1)自治体の『体力低下』および『負担増加』に対応した行政運営と議会のあり方
- (2)狭山市が将来にわたり健全に発展していくための方策について
- (3)その他、上記を実施するうえで必要な事項について

構成委員

- | | | | |
|-----|------|------|------|
| 委員長 | 齋藤 誠 | 副委員長 | 三浦和也 |
| 委員 | 千葉良秋 | 土方隆司 | 綿貫伸子 |
| | 太田博希 | 望月高志 | 大島政教 |